

広報

かわかみ

ふるさと走る 川上つ子



12

2022
No.789

●主な内容●

ふれあいまつり

山幸彦まつり

源流館だより

職員募集

13 8 3 2

川上宣言

一、私たち川上は、自然と一緒に育った産業を育んで山と水を守り、都市にはない豊かな生活を築きます。

(川上宣言は全部で5つの項目になります。
毎号1項目ずつ掲載していきます。)

やまぶき保育園マラソン大会

秋晴れのもと広がるつながりの輪

第7回 ふれあいまつり



川上村では、旧白屋地区を舞台に、植栽を通してかつての人々の暮らしのぬくもりを再生する「未来への風景づくり」プロジェクトを、企業や団体と協働で実施しています。

その一環として、11月12日に「ふれあいまつり」が3年ぶりに開催されました。これは協賛企業・団体からの提案で2015年から始まったイベントであり、「村民の皆さんとのふれあいを大切にしたい」との思いが込められています。

当日は、旧白屋地区をはじめ、村民の方々が企業や団体の方々とのふれあいを楽しみました。また村を応援いただく思いを同じくする企業や団体間の交流を深めました。

本村では、このつながりを大切にし、「未来への風景づくり」プロジェクト、ひいては水源地の村づくりのさらなる発展に取り組んでまいります。

未来への風景づくり

協賛企業・団体（順不同・敬称略）

大和ハウス工業(株)
近畿日本鉄道(株)
佐藤薬品工業(株)
奈良交通(株)
鹿島建設(株)
市民生活協同組合ならコープ
奈良中央信用金庫
奈良ダイハツ(株)
(株)イムラ封筒
奈良県農業協同組合
奈良トヨタグループ
ダイドードリンコ(株)
森林環境保全促進
和歌山市議会議員連盟
損害保険ジャパン(株)
(株)タカトリ
不二熱学グループ



大滝ダムによる全戸移転となつた地へ、愛着を持ってくれる皆さんとの心温まるひとときを過ごしました

みんなでつくる 村の文化祭

第31回 山幸彦まつり



11月6日（日）に3年ぶりとなる「山幸彦まつり」が開催されました。「このお祭りは、川上村の秋の実りと文化芸術を楽しむイベントとして開催されています。模擬店やバザー、村民によるステージ発表に加えて、深尾多恵子さんによるジャズコンサートが催され、会場は大いに盛り上がりました。

また総合センター内では、村民の作品展として、子どもから大人まで幅広い世代の素晴らしい芸術作品が展示されました。今後も「山幸彦まつり」を通じて、村民の皆さん日々の活動を応援し、村の活性化に取り組んでいきます。

またこの度、山崎元造さん（粉尾）が生活と環境全国大会より感謝状を、前田剛さん（下多吉）・故松本修さん（東川）が川上村教育選奨を受賞されました。



吉野川でつながる交流の輪

水のつながりプロジェクト 源流体験



11月25日（金）、川上小学校の4年生5名が、香久山小学校4年生18名と共に源流体験を行いました。これは大和平野土地改良区と村が共催し、盆地と吉野川分水でつながる市町村が、吉野川源流について学習する取り組みとして実施しています。

初めての対面交流となつた今回、子どもたちは源流館の見学や旧白屋地区でのオリエンテーリングを通じてたくさん話をし、すぐに仲良くなつていきました。



午後からは大迫ダムに移動し、操作室やキャットウォークを見学しました。普段見ることができない場所に興味津々の様子でした。今回の源流体験を通して子どもたちから「川上村のダムがこんなにも生活に関わっている事を初めて知った」「水のことをこんなにも知れてくれしかった」との感想がありました。

村では今後もこのプロジェクトを通じて吉野川流域の上下間交流をより一層進めてまいります。



11月26日（土）、総合センターやまぶきホールにて「第18回おはなしカーニバル」が開催されました。これは、子育てサークル「吉野おはなしのしじネットワーク」のほん」の皆さんのが中心となり、吉野郡の子育て支援団体協力のもと企画されたイベントです。

「人形劇団クラルテ」による人形劇『11ぴきのねこ』が上演され、来場者を楽しませてくれました。コロナウィルスの影響により3年ぶりの開催となつた今回、例年とは異なり、ホールだけでの開催となりましたが、約170名の方に来場いただき大盛況で終えることができました。



役場では阪口副村長や職員が、子どもたちに負けじと仮装姿でお出迎え。子どもたちは「ハッピーハロウィン！」「トリックオアトリート！」と大きな声でお菓子を受け取りました。かわいいお化けの訪問に、大人たちも自然と頬をゆるめる素敵な機会となりました。

おはなしカーニバル 2022

トリックオアトートー

水のつながりプロジェクト 源流体験

11月26日（土）、総合センターやまぶきホールにて「第18回おはなしカーニバル」が開催されました。

これは、子育てサークル「吉野おはなしのしじネットワーク」のほん」の皆さんのが中心となり、吉野郡の子育て支援団体協力のもと企画されたイベントです。

「人形劇団クラルテ」による人形劇『11ぴきのねこ』が上演され、来場者を楽しませてくれました。コロナウィルスの影響により3年ぶりの開催となつた今回、例年とは異なり、ホールだけでの開催となりましたが、約170名の方に来場いただき大盛況で終えることができました。

役場では阪口副村長や職員が、子どもたちに負けじと仮装姿でお出迎え。子どもたちは「ハッピーハロウィン！」「トリックオアトリート！」と大きな声でお菓子を受け取りました。かわいいお化けの訪問に、大人たちも自然と頬をゆるめる素敵な機会となりました。

かわかみ源流ツーリズムの 「ひとめぐりかわかみ

体験プログラム開催レポート

【10月1日 「昆虫マスター古山さんと光に集まる蛾を調べよう】

蛾の特徴や豆知識を教えてもらいました。図鑑で調べました。大きなヤママユ蛾も3匹見ることができました！「蛾の種類がこんなにあるとは知らなかつたので、とても驚きました！」などのお声を頂きました。

【11月8日 「星空案内人と皆既月食を観よう】

はじめは雲が厚くなかなか見ることができませんでしたが、19時ごろには雲が晴れ綺麗な皆既月食を観ることができました！村民さんを含め20名ほどの方にご参加いたしました。皆さん、満天の星に浮かぶ赤い月に大興奮。綺麗な星と一緒に皆既月食が見られるのは川上村だからこそできる素敵な体験でした！

【11月16日 「紅葉の柿の葉寿司を作ろう】

民宿紺ちゃんの離れにて「柿の葉寿司の里かわかみ」の徳岡さんを講師に、柿の葉寿司作りを一から教えてもらいました。

サバをすくのも不格好になつてしまつたり、柿の葉に包むのも難しかつたり、柿の葉寿司作りの奥深さを知ることができました。「工程を学びながら体験でき、とても楽しい企画でした。」などのお声を頂きました。

かわかみ源流ツーリズム
TEL 52・0333
営業時間 9時～17時(水曜定休)



お約束を守って避難できたよ！

笑顔キラキラ やまがき保育園

保育園では毎月、全園児対象に避難訓練を行っています。月毎に火事や地震など、様々な災害からのように身を守るのか、時間帯や内容を変えながら実施しています。小さいクラスの園児は、始めは怖がって泣く子もいましたが、毎月経験するうちに徐々に慣れ、秋頃には保育士と手をつないで避難できるようになりました。

そして11月17日、吉野広域消防署から消防士さんが来てくださいました。始めに保育室で火の怖さや避難の仕方を教えて頂いてから、模擬の煙をたてての避難訓練の様子も見て頂きました。子どもたちは普段通りにおはしも（押さない・走らない・しゃべらない・戻らないの頭文字をとった標語）の約束を守り、煙を避けるように身を低くし、口元を抑えて速やかに園庭に避難することができます。消防士さんにお褒めの言葉を頂きました。

その後は、大きな消防車を見せてもらったり、乗せてもらつて興味深々の子どもたちでした。



わあ～消防士さんみたい♪



さらばに、前へ

前へ

「もう師走。1年経つのは早いなあ」この時期、こんな会話が日常的に飛び交います。

歳をとるほど体感時間が短く感じるのことを「ジャネーの法則」と呼ぶようです。生きてきた年数によって、1年の相対的な長さがどんどん小さくなることにより、時間が速く感じると言うわけです。つまり1年間を、10歳は、10分の1、60歳は60分の1に。もちろん異論もあるようですが。

さて皆さん、どんな1年でありましたか。

私が真っ先に浮かび、懸念するのは、やはり世界を震撼させたロシアによるウクライナへの武力侵略であり、これに端を発した台湾有事であります。

ただそうした中でも、水源

地の村づくりに足踏みは許されません。義務教育学校建設事業は無事に本体工事に着手でき、重層的支援体制整備事業は本格軌道に乗りつつあります。さらには、「官民協働」をめざす源流ツーリズムが一層の具体化を迫られる中、観光協会の皆さんのが主導となつたONSSENガストロノミーウォーキングは大盛況であります。会員はもちろんのこと、「村の魅力発信に積極的な方々」がサポートされ、めざすところの「協働が見えた」と期待が膨らみます。

難問山積の岸田内閣ではありますが、昨年の同期に小欄で紹介した言葉「早く行きたければ一人で進め」は、私の思いが重なります。よいお年をお迎えください。

かわかもんがゆく。

—地域おこし協力隊活動記—

協力隊1年目の島崎です。川上村での生活も半年を過ぎ段々と慣れてきました。これを書いている今も日に日に気温が下がっていっているのを感じ季節は冬の寒さを覗かせています。

先日、グリーンウッドワークのイベントに参加してきました。グリーンウッドワークとは生木を使った木工のことで、近年少しずつ人気が高まっているそうです。生木の木工と聞くと乾燥した時にヒビや割れが起きるのではと心配になりますが、そういう事は100個に1個位とのことです。それを多いと思うかどうか人々ぞれ感じ方はあるかと思いますが、本格的な木工と比べて道具も安価で手に入りやすく始めやすい、売り物として作るというより趣味でやれる手軽さが魅力だと思いました。

作るのはスプーンやフォーク、ククサ（木のカッパー）から椅子などだそうです。私がイベントで作ったのはチョップピングブロック（はつり台）、グリーンウッドワークでは丸太の状態から物作りをするのでこのチョップピングブロックがあると作業がはかどります。材料は直径と高さがだいたい20cmの丸太に枝で出来た3つの足が付いていて、持ち運びが簡単に出来るように足は完全には固定せず、丸太側と枝の足をオスマスでティーバーにしてあります。使う時には木槌で叩いて入れればしっかりと固定されます。このチヨップピングブロックは、見た目もなかなか良いので椅子やベッドの脇に置いてサイドテーブルとしても使えそうだと思いました。

都市部等の愛好家は生木が手に入りやすく、真空パックにされた生木を買っています。川上村は広大な範囲に森林が広がり木が身近にあり、普段山で出る材にならない木を使って身近な物を作つていけたら木も無駄にならず様々な木の活かし方の一つとして自分にとつてもプラスになると思いま



SCSWのちょっと失礼します！

◇子どもたちの安全をサポート！
見守り活動に同行しました

毎朝出勤時に、白川渡のスクールバス停留所で、子どもたちを迎える春増公文さんにお会いします。小学校での立哨とは違うの？と疑問に思ったので、お話を聴いてきました。



地域安全推進委員会長としてお出迎え

バスを待つ間に子どもが遊んでいて危ない、と感じたのがきっかけで、今年4月から見守りを始めたそうです。この日はちょうど学校での立哨活動の日でもあり、バスを見送った後は学校へ。学校では、吉野署、地域安全推進委員会、主任児童委員のみなさんたちが子どもたちを迎えていました。「お

はようございます！」の元気な挨拶が響きます。春増さんは「子どもたちが増えてうれしい。ボランティアとはいうけど、自分も楽しい」とおっしゃいました。立哨は、これまで小学校で実施していたけど今は中学生も迎えられる。さらにかわかみ源流学園が開校すると、保育園から中学校までの子どもたちを迎えることができるのです、今から楽しみだそうです。子どもたちにとつては、たくさんの大人が自分たちを応援してくれていることを知る機会だと感じました。わたしも、スクールバスを見かけたら「いつてらっしゃい！」と車の中で言おうと思いました。

(越智)



個人でも見守り活動をされています

事業協同組合かわかみワーク

「安定した雇用創出」や「働く場の掘り起こし」を通じて、移住定住施策や関係団体とともに地域産業の活性化や担い手確保をめざし事業を進めています。

現在、14事業者が組合に参画。5名の派遣職員が組合事業者の業務に従事し活躍中です。

《事務局長募集》組合運営、人材派遣業の総括管理を行う事務局長を募集!!

■勤務形態

- ・月から金曜日（8：30～17：15）
- ・週休2日制

■勤務場所

- ・かわかみワーク事務局（労働会館内）

■報酬・福利厚生

- ・月額18万円～（経験に応じて決定）
- ・交通費支給あり
- ・厚生年金、健康保険、労働保険加入

■採用日

- ・令和5年4月1日

■採用方法

- ・書類選考後、面接（面接日は応相談）

■書類提出

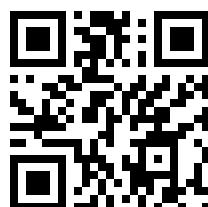
- ・履歴書を下記まで郵送または持参

《応募・お問合せ》

事業協同組合かわかみワーク事務局

川上村迫1335-17 労働会館1階 TEL0746-58-7256

または、役場くらし定住課 TEL0746-52-0111



かわかみワークHP

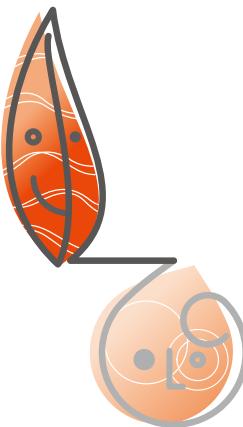
かわかみワーク

検索



ホームページもご覧ください。

組合事業者を紹介・求人情報を更新しています



森と水の源流館だより

December, 2022 vol.241

TEL 52-0888 FAX 52-0388 (水曜休館)

川上村の名所・旧跡 其の七十九

「蟠竜窟」(大迫)…大迫ダムから下流側を望むと左に「天馬嵒」と呼ばれる巨大な石灰岩の岩場が見えます。「蟠竜窟」はその麓にある鍾乳洞で、中にはお地蔵さんが祀られています。護摩を焚いたような跡もあるので、昔は行場として使われていたのかも知れません。



シンポジウム会場の様子

11月23日（水・祝）やまぶきホールにてシンポジウムを開催しました。約120名の方にご来場・ご観覧いただきました。

ちょうど1週間前の11月16日は「第34回全国豊かな海づくり大会」やまとくが川上村で行われたことを記念して制定された「川上村源流の日」でした。この時の大会テーマは「ゆたかなる森がはぐくむ川と海」でした。ここにはじめて「森」という言葉が使われています。川上村の森について学んでいこう

えで吉野林業のことは外せません。経済発展と環境保全が両立した持続可能な暮らしがあったことを愛媛大学名誉教授の泉英二先生にお話いただきました。かつて森林資源の枯渇という問題に直面し、乗り越えてきたことから、今の課題となっている限られた地球の資源をどのように循環させていくか、考えることができるのでないでしょうか。

人工林の一方で「吉野川源流―水源地の森」のような天然林もあります。こちらについては龍谷大学准教授の横田岳人先生よりお話をいただきました。スギの生育に適していたことも水源地の森が残されていたこと



泉先生による基調講演

森と水の源流館開館20周年記念×奈良女子大学大和・紀伊半島学研究所連携シンポジウム

「樹と水と人の共生を未来へつなぐ」

この日ご参加いただいた方々からも自然や第一次産業にこそ新たな価値、これまでにない付加価値への共感が必要というご意見やご感想をいただきました。これを解決していくためのキーワードが担い手ではないでしょうか。

奈良教育大学ESD・SDGsセンター長の中澤静男先生より、担い手を育てる教育のお話をいただきました。土倉庄三郎翁も政治、経済、そして教育を支援されていましたことが思われます。一部の森林所有者、林業家だけに保全を押し付けるのではなく、一人一人が自分事として行動しなければなりません。

早稲田大学名誉教授の宮口先生は、2030年までに達成するべき未来に向けての17の世界的目標SDGsのため、川上宣言にあるとおり「地球環境に対する人類の働きかけの、すばらしい見本になるように」と話されました。つながら、つたえる、つづけることを森と水の源流館も引き続き取り組んでまいります。

川上村立図書館は開館20周年！

図書館だより

年末年始の開館について

12月29日(木)～2023年1月3日(火)までの間は休館します。年始は1月4日(水)からの開館となります。休館中の図書の返却は総合センター入口の返却ポストをご利用ください。

本と共にふり返る図書館の20年

2017年(平成29年)

開館15周年を記念して、当館の設立に深く関わられた渡部幹雄氏（元和歌山大学教授・学術情報センター図書館長）にお越しいただき講演会を開催しました。「地域の人々と築く図書館の可能性」をテーマに、生涯にわたる学びの拠点、また地域交流の場としての図書館の重要性から村づくりのヒントを伺いました。この時のお話が、現在の図書館DEトークなどのイベントに活かされています。



2017年のベストセラー

「90歳。何がめでたい」・「ざんねんないきもの事典」・「蜜蜂と遠雷」

あなたの図書館エピソード

川上村立図書館開館20周年おめでとうございます。

この20年間“おとなりどうし”いつも協力しあいやってきました。特にそれぞれの10周年の2012年には、ネイチャーフォトグラファー内山りゅうさん、古事記について日本文学者の三浦祐之さんの記念講演会を共同で開催しました。前年度の秋から相談をはじめ、より強いタッグを組んで準備を進めたことを懐かしく思い出します。互いに立派な施設ですので、さらに多くの人に活用されるようこれからもアイデアを出し合い歩んでいきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

森と水の源流館（公益財団法人 吉野川紀の川源流物語）事務局長 尾上 忠大

「川上村の“ええとこ”かるた」読み札募集中！

図書館開館20周年の記念企画として製作中の「川上村の“ええとこ”かるた」。募集期間を延長し、引き続き読み札を募集中です！川上村の自然・歴史・暮らしなどの「ええとこ」をテーマにご応募ください。応募要項等、詳しくはチラシをご覧になるか、図書館までお問い合わせください。
(応募締め切り：12月末日)

図書館カレンダー

●色の日が休館日 ●

	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
12	4	5	6	7	8	9	10
月	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	
月	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

総合センターの入館制限解除に伴い、図書館の電話予約制も解除になりました。

来館時のマスク着用・手指の消毒については引き続きご協力お願いいたします。

【問い合わせ先】

TEL 520144

教育かわがみ

第119回 教育長通信

☆義務教育学校に向けて
～校章デザイン選定進む～

7月15日から9月2日までの募集期間に、村内外から21名44点の校章図案の応募がありました。村

総合教育会議委員と村教育委員会依頼の専門審査員併せて8名で組織した校章審査会の通算3回にわたる厳正な審査を行いました。

また、最終審査に先立つて、5点に絞った図案を在校生と教職員に提示して意見を求めました。

結果は、青森県弘前市の工藤和

久氏の作品をベースにして村章を

加えて完成させたものが選定されました。奇しくも子ども達や教職員が1位に選んだものと同じ図案となりました。

現在、図案を調整しておりますので、次回新年号の広報紙面で図案のお披露目と詳しいご紹介をさせていただきます。

東川 故 松本 修氏 85歳
○功績
長年に亘り朝撰式の保存と存続に取り組み、村内外への啓発に寄与。朝撰式保存会設立に尽力し、550回を喫して村内統一の朝撰式の実施を実現した。その後、会長及び顧問を歴任。朝撰式の村無形文化財指定や後進の育成に尽力した。

長年に亘り村文化財保護審議会委員及び会長を務める。在任中、ミセバヤ、ヒメイノモトソウを発見。それぞれ、県及び村天然記念物指定に繋いだ。また、村社会教育委員会及び公民館運営委員会会長として社会教育推進にも尽力しました。

全国山形大会では、担任の先生が支援者に徹し切り、小6の子ども達が主体的に授業を進める授業実践を拝見しました。

☆令和4年度教育選奨授与式

11月6日（日）、3年ぶりに開催された山幸彦まつりの会場やまぶきホールにおいて、次のお二方に村教育委員会選奨が贈られました。ここにお名前とご功績をご紹介いたします。

下多古 前田 剛氏 85歳

○功績
長年に亘り朝撰式の保存と存続



第37回近畿へき地教育京都大会

☆へき地教育の研修を通して

第71回全国へき地教育山形大会

近畿京都大会では、教科指導の中で地域の特性を発見させようとしている中学校のふるさと教育を拝見しました。共に、主体的・対話的で深い学びのある実践が出来ており、子ども達が生き生きとして授業を楽しんでいることを感じました。久しぶりにいい時間が持てたことが喜びでした。

◇12月・1月の学校の動き

12(木)	11(水)	10(火)	9(月)	2(月)	1(日)	24(土)	23(金)	22(木)	20(火)	19(月)	16(金)	14(水)	12(月)	〈小学校〉	〈中学校〉	
校内カルタ大会	給食開始・合同職員会議	三学期始業式	祝日 成人の日	村スキー教室出発日 ～6日まで	祝日 ～元旦	大掃除・給食最終日	冬期休業（冬休み） ～1月9日まで	一二学期終業式				見守隊玄関前立哨指導	体重測定	校内マラソン大会	生徒会役員改選	三者懇談①
3年学力診断テスト	身体測定											食育講話				三者懇談②

10月24日 2年生職業体験

10月24日～27日のうち3日間、村内5つの事業所にお世話をいただき、2年生が職業体験をしました。今後の進路や就職を考える貴重な機会となりました。



Open Cafe 秀



社会福祉協議会



匠の聚



ホテル杉の湯



村立図書館

11月4日 全校登山（白屋岳）



当日は穏やかな晴天に恵まれ、1176.9mの頂上からは、学校が眼下に見下ろせました。美しい景色や地形など郷土の良さを堪能し、道中の会話も弾みました。

11月17日 2・3年生剣道授業

保健体育科では、武道に親しみ、技ができる楽しさや喜びを味わい、基本動作や基本となる技ができるようにする学習があります。

1年生は6月、2・3年生は11月に、村立武道場の上垣功先生にご指導いただき、剣道の授業を行いました。全員が熱心に取り組み、学年が進むにつれて上達しています。





かわかみらいふ通信

年末年始営業日のお知らせ

移動スーパー1/9～・宅配1/9～！
年末年始のお買い物はお早めに！

●移動スーパー

30 (金)	31 (土)	1/1 (日)	2 (月)	3 (火)	4 (水)	5 (木)	6 (金)	7 (土)	8 (日)
営業	お休み								

●コープ宅配

12/26 (月)	27 (火)	28 (水)	29 (木)	30 (金)	31 (土)	1/1 (日)	2 (月)	3 (火)	4 (水)	5 (木)	6 (金)
12月最終回分の配達						迎春商品 の配達	お休み				

●かわかみSS ※1/4の配達業務（灯油・軽油）はお休みです

12/28 (月)	29 (火)	30 (水)	31 (木)	1/1 (金)	2 (土)	3 (日)	4 (月)	5 (火)	6 (水)
営業	お休み							営業 10:00～15:00	営業

年末年始の各施設・行政サービスのお休みについて

- ◆村立図書館 ◆あきつの小野スポーツ公園
- ◆役場 ◆シルバー人材センター ◆診療所
- ◆教育委員会 ◆社会福祉協議会
12月29日（木）～1月3日（火）
- ◆かわかみ源流ツーリズム・森と水の源流館・匠の聚
12月28日（水）～1月4日（水）
- ◆かわかみ社中・木工センター
12月29日（木）～1月4日（水）
- ◆大滝ダム学べる防災ステーション
12月21日（水）～2月28日（火）
- ◆歯科診療所
12月26日（月）～1月5日（木）
※年始はお問い合わせください
- ◆ふれあいセンター
12月29日（木）～1月8日（日）
- ◆中井渓谷自然塾
12月28日（水）～1月3日（火）
- ◆井氷鹿の里
12月31日（土）・1月1日（日）
- ◆白川渡オートキャンプ場 ◆大迫ダムづくり公園
年末年始無休

- ◆不動窟鍾乳洞（喫茶ホラ！あな）
12月26日（月）～1月6日（金）
※1月・2月は土日祝のみ営業となります
- ◆ホテル杉の湯
●日帰り入浴 12月31日（土）～1月4日（水）
- レストラン山吹 1月1日（日）
- ◆道の駅
年末年始無休 ※1月1日（日）は
午前10時～午後4時で営業
- ◆やまぶきバス
12月31日（土）～1月3日（火）
※12月29日（木）・30日（金）は
土曜ダイヤで運行
- ◆ゆうゆうバス ◆ニコニコ号
12月29日（木）～1月3日（火）
- ◆ゴミの収集
収集カレンダーどおりです
※休日中は、クリーンセンターや収集場所
へゴミを置き捨てないようお願いします

会計年度任用職員募集のお知らせ

職種 保育士
募集人数 2名
業務内容 保育の補助
勤務時間 8時～19時(内8時間45分) 1時間の休憩あり
給与 182,200円
応募資格 18歳以上の方、要保育士免許
応募期間 随時
応募方法 役場・教育委員会・診療所に備えつけの「会計年度任用職員」に必要事項をご記入の上、総務税務課へ持参または郵送 ※ホームページよりダウンロード可
採用期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日 ※更新あり
選考方法 書類選考後、面接
採用通知 面接終了後、1週間以内に通知
備考 勤務実績により昇給あり
【申し込み・問い合わせ先】 総務税務課 TEL 52-0111

臨時給食調理員(登録制)随時募集のお知らせ

職種 臨時給食調理員(登録制)
募集人数 若干名
業務内容 学校給食調理等
勤務時間 7時30分～16時15分 ※月2～5日程度(教育委員会が指定する日)
時給 901円(調理師免許保有の場合は時給967円)
応募資格 18歳以上
応募方法 役場・教育委員会・診療所に備えつけの「会計年度任用職員」に必要事項をご記入の上、総務税務課へ持参または郵送 ※ホームページよりダウンロード可
採用期間 採用日～令和5年3月31日 ※更新あり
選考方法 書類選考
備考 勤務実績により昇給あり
【申し込み・問い合わせ先】 総務税務課 TEL 52-0111

「川上村原油価格高騰緊急経済対策補助金」追加募集

広報かわかみ10月号でお知らせしました「川上村原油価格高騰緊急経済対策補助金」について、補助対象経費は令和4年4月から同年7月までの合計燃料使用額と前年同期分の合計使用額の差額を基準としていました。

今回、原油価格高騰の影響を受けている事業者を引き続き支援することを目的に、令和4年8月から同年11月までの合計燃料使用額と前年同期分の合計使用額の差額を補助対象経費とし、追加で募集します。

※令和4年4月から同年7月までを補助対象経費の対象期間として申請いただいた事業者の方も申請いただけます。

申込受付期間は、令和5年1月31日（火）まで。

詳しい詳細につきましては、「広報かわかみ10月号16ページ上段」をご覧下さい。

【問い合わせ先】 くらし定住課 TEL 52-0111

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援金の給付について

電力・ガス・食料品等の価格高騰により、特に家計への負担が大きい住民税非課税世帯に対し電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金を給付します。

■対象者

(1)住民税非課税世帯

以下の1から3のすべてを満たす世帯が対象となります。

1. 基準日(令和4年9月30日)において川上村に住民登録があり、かつ、世帯全員の令和4年度住民税均等割が課されていない
2. 世帯全員が、令和4年度に住民税が課税されている他の親族等から扶養されていない
3. 世帯の中に、令和3年中に住民税が課税される所得があるのに申告をしていない者がいない

(2)家計急変世帯

以下の1から3のすべてを満たす世帯が対象となります。

1. 令和4年1月以降に家計が急変した
2. 世帯全員が、令和4年度に住民税が課税されているほかの親族等から扶養されていない
3. 世帯全員それぞれの1年間の収入(または所得)見込額が、住民税非課税相当水準以下である

■支給額

1世帯あたり5万円

■申請方法

(1)住民税非課税世帯の方

対象世帯には、給付内容や確認事項の記載された「確認書」を送付します。(12月中旬発送予定)
必要事項を記入の上、令和5年2月22日までに返送してください。

(2)家計急変世帯の方

総務税務課の窓口に備えつけの様式にて申請が必要です。

■申請期間

令和5年2月22日まで

【問い合わせ先】 総務税務課 TEL 52-0111

地域振興券・川上村家計応援燃料券・はつらつ応援券有効期間のお知らせ

・地域振興券（黄色・青色）のご利用は**2月10日**まで



・川上村家計応援燃料券（オレンジ色）のご利用は**2月28日**まで



・はつらつ応援券（ピンク色）のご利用は**2月28日**まで



有効期限を過ぎますと無効となり、使用できません。ご注意ください。

まだ、お受け取りいただいている方は、役場までご連絡下さい。

【問い合わせ先】

地域振興券・川上村家計応援燃料券：くらし定住課

はつらつ応援券：健康福祉課

TEL 52-0111

てんいち先生



(川上村人権・同和問題啓発活動推進本部)

診療所 からのお知らせ

【整形外科診察日】

と き 12月21日(水)

受付時間 午前8時30分～11時30分

【巡回診療日】

と き 12月27日(火)

受付時間 午後2時～3時30分

と こ ろ ふれあいセンター(北和田)

※受診される方は保険証をご持ください。

【問い合わせ先】 川上診療所 TEL 52-0344



11月・12月は 「県下一斉滞納整理強化期間」です

税の公平・公正を確保し、納税者の信頼を守るために、県内全市町村と奈良県が一丸となって徴収を強化し、より一層の滞納整理に取り組みます。

俳句

川上俳句会

森井美知代選

特選 竜淵に潜む清水を奉り

評 「竜淵に潜む」とは、春は天に上昇した竜が、秋分のころ川の淵に潜むという伝説に基づいたことわざである。作者はその謂れをよく知っていて、竜を奉り、きれいな山清水を供えたという、心温まる句材である。

特選 葦の葉も反つくり返る芋嵐

評 葦の葉は柔らかいので、風がなくてもそよいでいる。細い葦の葉はもちろん里芋の葉をもばたかせて、強い風が吹き荒れている。強風にびっくりして一句が授かった。

特選 貝割菜蒔きし日付の札立て

評 几帳面な性格が見てとれる。貝割菜を蒔いた日付を記憶するためにしつかり書いておく。作者はその葉が成長する日々を楽しみに毎日畑に顔を出しておられるのであろう。

入選 たばらせと垣内を廻る豆名月

鹿追ひの鈴を鳴らして熊を追ふ

晴天が毎日続き小鳥来る

筏節聞こえし流れ紅葉散る

田仕舞の煙あちこちから上がる

新子谷生子(北和田)
上田一郎(伯母谷)
辻井清子(大滝)
住川準典(武木)

松本全代(大滝)
前田景子(大滝)
松本彰美(迫)

望月 彰美(迫)

社会保険料(国民年金保険料)

控除証明書の電子送付サービスを開始!

「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」の電子データを、マイナーポータルの「お知らせ」で受け取れる電子送付サービスを開始しました。

令和5年1月からは、受取った電子データを国税庁の提供するe-Tax等に取り込むことができ、簡単に確定申告や年末調整ができます。

詳しくは、日本年金機構のホームページをご確認ください

【問い合わせ先】

住民課 TEL 52-0111

誕生日おめでとう！「まちまち元気に大きく育つこね」

「誕生日おめでとうーーー！
いつも沢山元気をくれてありがとう。
川上村で大きくなあれーーー！」



佐藤 百眞くん(白川渡)
(令和2年12月16日)

2歳

「お兄ちゃん2人にもまれるけど、
強くなってね！」



永尾 幸敏くん(白川渡)
(令和3年12月2日)

1歳

HAPPY BIRTHDAY

ハナサナギタケ



冬虫夏草は珍しい。大半の人がそう思っていることだろう。ところがどっこい、見つけにくいだけで案外身近なところに生えている。その代表選手がハナサナギタケだ。川上村内では公園や林道、林縁など、湿度が少し高く薄暗い場所であれば普通に見られる。蛾の蛹から発生するキノコで、大きさは寄生する蛾の大きさによって大小様々。柄の先が珊瑚状になり、花が咲いたような見た目から名付けられた。見た目がよく似たコナサナギタケは柄の先が棍棒状になっている。

かわかみの生き物

かわかみ応援寄附金

谷 甚四郎 様（王寺町）
梅澤 章夫 様（大和郡山市）
亡き祖母の供養として

社会福祉協議会へのご寄付

10万円 前田 隆裕 様（白川渡）



村の人口

11月30日現在

人口総数	1,259人	(−2人)
男	601人	(±0人)
女	658人	(−2人)
世帯数	747世帯	(−2世帯)

11月中の異動

転入	1人	転出	4人
出生	2人	死亡	1人

広報かわかみ 令和4年12月12日発行
発行 奈良県川上村／編集 川上村広報編集委員会
〒639-3594 奈良県吉野郡川上村大字迫1333番地の7
TEL 0746-162-10111
メールアドレス soumu@vill.nara-kawakami.lg.jp